

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための
革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト
平成 30 年度試行結果に関する報告会

国土交通省は 7 月 30 日（火）に「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」で試行した技術について、技術の概要、導入効果、達成状況等を報告する報告会を開催します。

○ 国土交通省では、建設現場の生産性向上を目指す i-Construction と、統合イノベーション戦略（H30.6.15 閣議決定）を受け、「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」を平成 30 年度より開始しました。

本プロジェクトは、土木工事における施工の労働生産性向上や品質管理の高度化等を目的に技術公募を行い、33 件の技術を各現場で試行しました。

今回、現場で試行した 33 件の技術の内、9 件の技術について技術の概要、導入効果、達成状況等を報告致します。

【開催日時等】

1. 日 時 : 令和元年 7 月 30 日（火）14:00～17:00
2. 場 所 : 機械振興会館 地下 2 階 ホール（東京都港区芝公園 3-5-8）
3. 参加費 : 無料

※当日のプログラム、案件等は別紙をご参照下さい。

○傍聴を希望する方は下記の申込先までメールにて申込書を提出下さい。

申込み者数によっては、ご参加いただけない場合がございます。

その場合、先着順となりますので予めご了承下さい。

ご参加可能な場合のみその旨返信致します。

○取材を希望される報道関係の方は 7 月 23 日（火）15 時まで下記に下記の申込先まで FAX にて取材申込書を提出下さい。

なお、進行の都合上、カメラ撮りは冒頭挨拶までとします。

<申込先> 国土交通省 大臣官房 技術調査課 荒木
Mail : i-Con_consortium@mlit.go.jp FAX : 03-5253-1536

問い合わせ先

国土交通省 大臣官房 技術調査課 辛嶋・佐藤

TEL : 03-5253-8111（内線 22353、22306） 直通 03-5253-8221 FAX : 03-5253-1536

国土交通省では、建設現場の生産性向上を目指すi-Constructionと、統合イノベーション戦略(H30.6.15閣議決定)を受け、「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」を平成30年度より開始しました。

本プロジェクトは、施工の労働生産性向上や品質管理の高度化等を目的に、以下の2つのテーマで技術公募を行い、33件(技術Ⅰ:19件、技術Ⅱ:14件)の技術を各現場で試行しました。

- ・技術Ⅰ: データを活用して土木工事における施工の労働生産性の向上を図る技術
- ・技術Ⅱ: データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

今回、現場で試行した33件の技術の内、9件の技術について技術の概要、導入効果、達成状況等を報告する報告会を開催します。

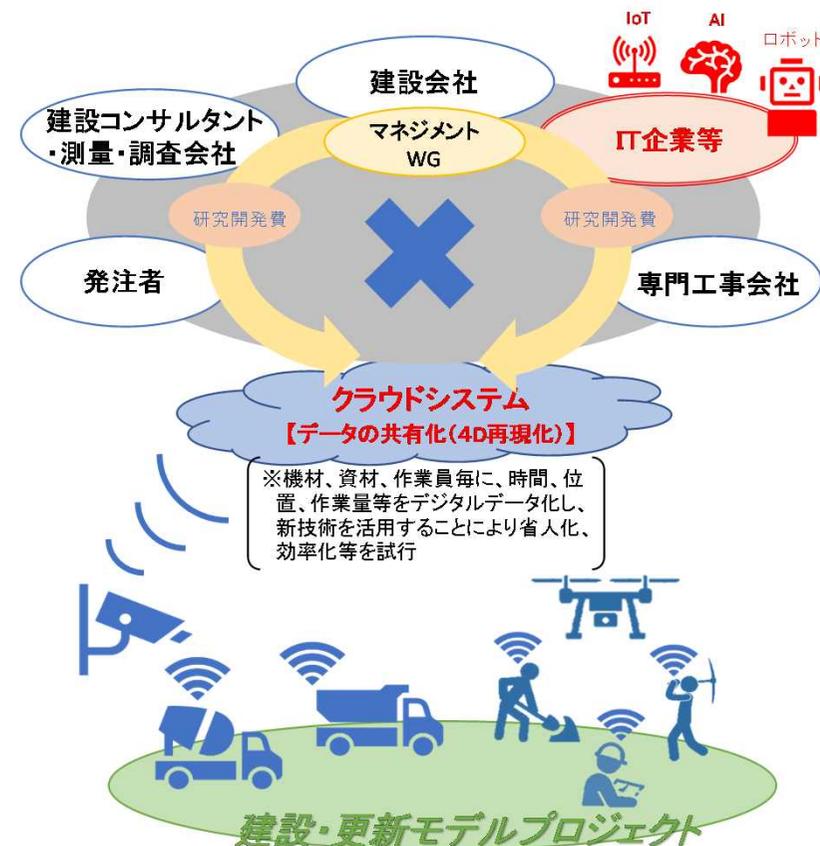
【開催日時等】

- 日時: 令和元年7月30日(火) 14時~17時
- 会場: 機械振興会館 地下2階 ホール
(東京都港区芝公園3-5-8)
- 参加費: 無料

※報告会のプログラム、案件等の詳細は別紙をご参照下さい。
 ※傍聴を希望する方は以下の申込先まで申込書を提出下さい。
 ※申込み者数によっては、ご参加いただけない場合がございます。
 その場合、先着順となりますので予めご了承下さい。

■ 申込先

- ・ 国土交通省 大臣官房 技術調査課 荒木
- ・ TEL:03-5253-8221、FAX:03-5253-1536
- ・ Mail:i-Con_consortium@mlit.go.jp

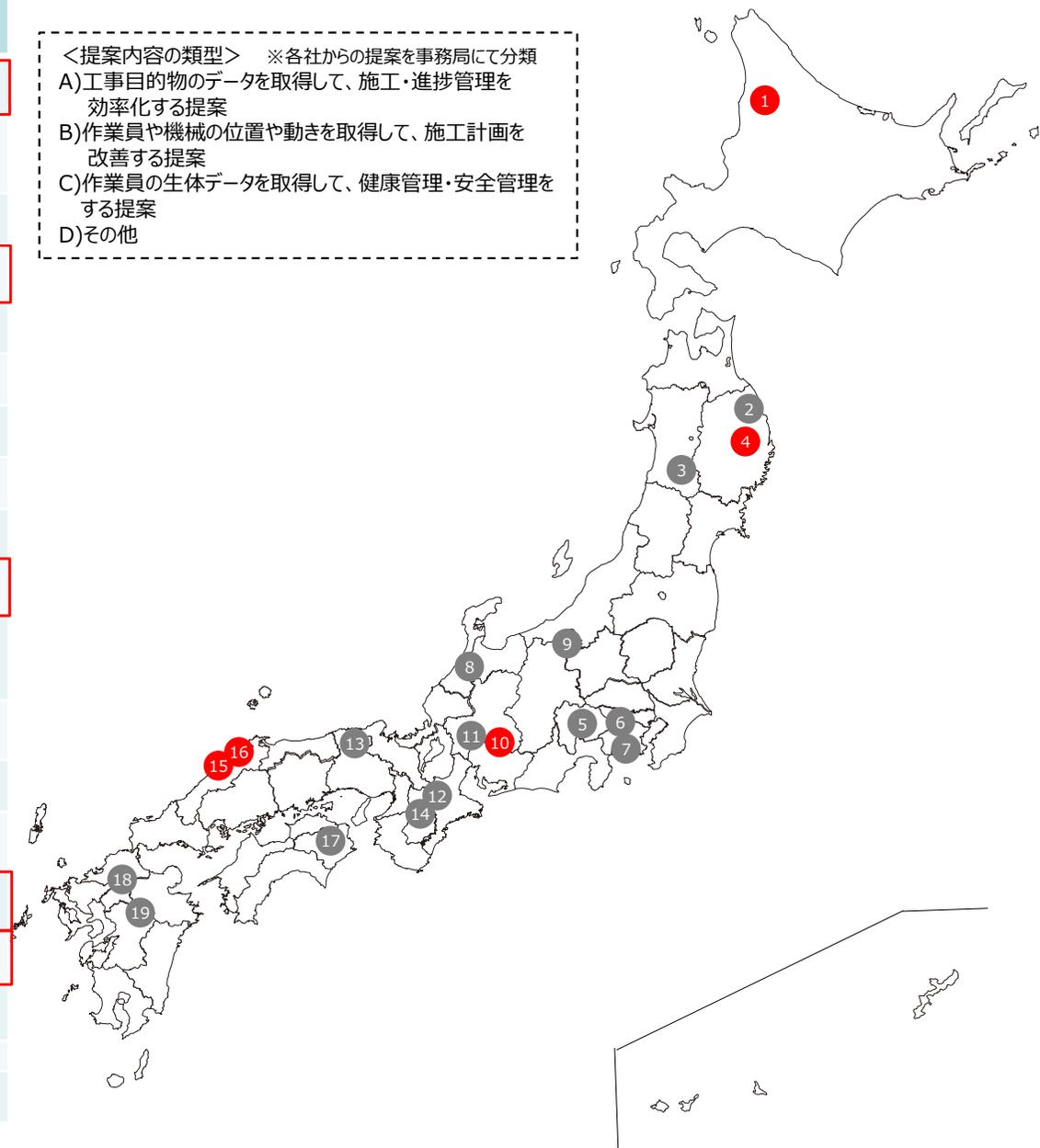


● 技術 I：データを活用して施工の労働生産性の向上を図る技術

No	コンソーシアム	試行場所	試行工事 工種	類型
1	堀口組、環境風土テクノ、ドーコン、パナソニック、北海道大学、立命館大学	国道239号 霧立工区/上平工区	土工	B
2	東急建設、東京都市大学、琉球大学、岩手県立大学、フレクト、ケー・シー・エス、トライポッドワークス	国道45号 長内地区	土工	B
3	大成建設、オートデスク、イリノイ大学、Reconstruct	成瀬ダム	ダム	A
4	五洋建設、インフォマティクス、大阪大学、ソーキ、パナソニック、ビーコア、日立システムズ	国道106号 与部沢トンネル	トンネル	A,B
5	第一電子、西武建設	中部横断自動車道 不動沢地区	土工	B
6	川田工業、川田テクノシステム、川田建設、ソフトバンク	首都高速道路 高速5号 池袋線 板橋JCT周辺	橋梁上部	A
7	西松建設、富士通	横浜湘南道路 トンネル部	トンネル	D
8	竹腰永井建設、ジャパンビジュアルサポート、丸菱	中川 霞滝	法面工	A
9	フクザワコーポレーション、ワイズ	中津川上流 第1号砂防堰堤	土工	D
10	フジタ、ジオサーフCS	土岐口開発造成工事	土工	A
11	奥村組、パスコ、ジャパンギャランティサービス、伊藤忠テクノソリューションズ、大阪大学、日本建設機械施工協会	東海環状自動車道 高富IC北地区	土工	B
12	仁木総合建設、コマツカスタマーサポート、京都サンダー、洛陽建設	名張川（28.6k付近）・ 宇陀川（0.4k付近）	土工	A
13	前田建設工業、ミツフジ	日高豊岡南道路 山本高架橋	橋梁上下部	B,C
14	浅沼組、先端建設技術センター、岐阜大学、ミオシステム	大和御所道路 曲川高架橋	橋梁下部	B
15	カナツ技建工業、福井コンピュータ、ライカジオシステムズ、山陽測器	静岡仁摩道路 大国高架橋	橋梁下部	A
16	IHIインフラ建設、IHI、オフィスケイワン、千代田測器	湖陵多岐道路 多岐インター橋	橋梁上部	A
17	アジア航測、日本国土開発、関西大学、関西総合情報研究所、美津濃	四国横断自動車道 新町川橋	橋梁下部	B,C
18	日本電気、鹿島建設	小石原川ダム	ダム	B
19	清水建設、演算工房、コニカミノルタ	熊本57号 滝室坂トンネル	トンネル	A,B,C

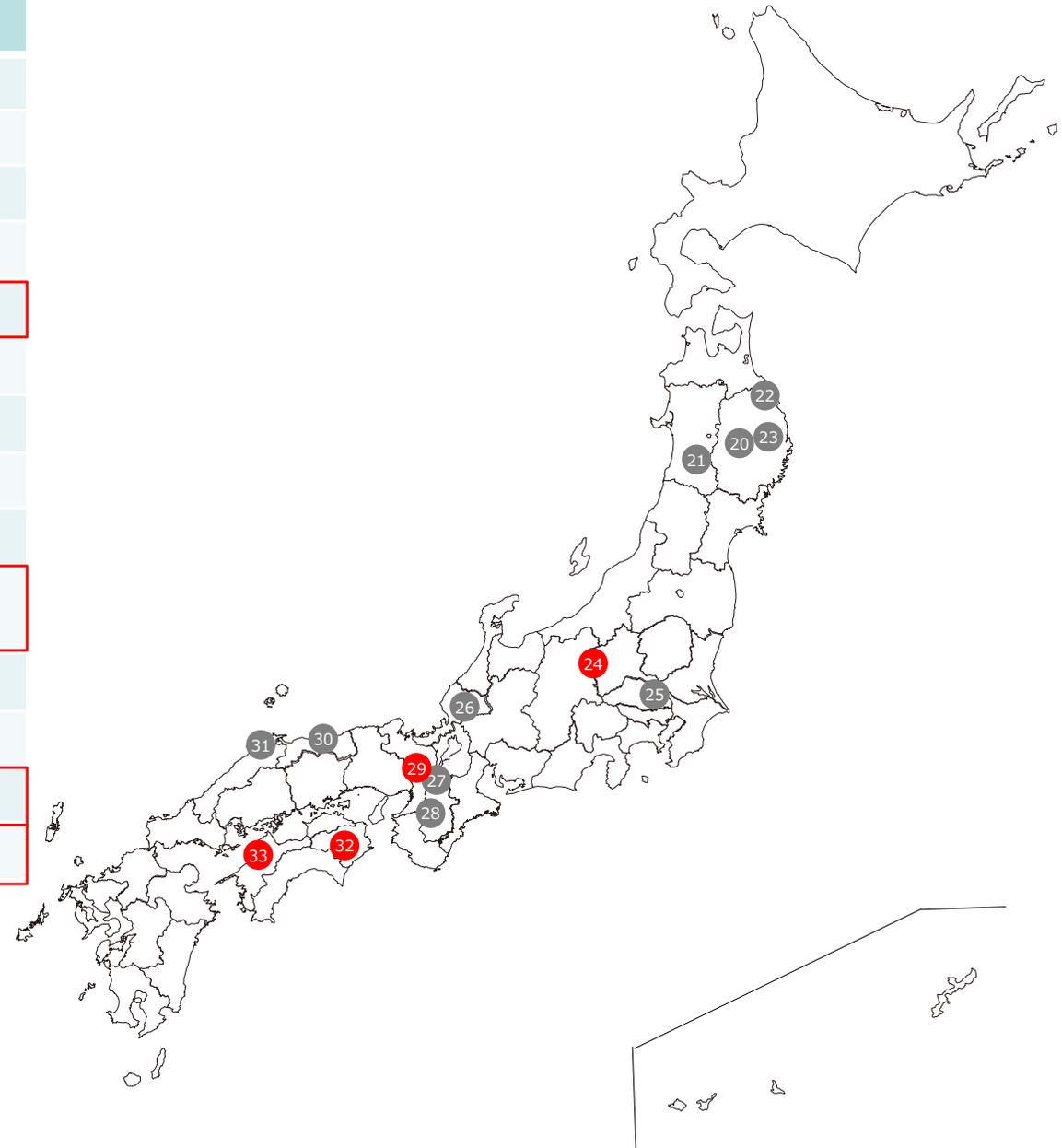
＜提案内容の類型＞ ※各社からの提案を事務局にて分類

- A) 工事目的物のデータを取得して、施工・進捗管理を効率化する提案
- B) 作業員や機械の位置や動きを取得して、施工計画を改善する提案
- C) 作業員の生体データを取得して、健康管理・安全管理をする提案
- D) その他



● 技術Ⅱ：データを活用して品質管理の高度化等を図る技術

No	コンソーシアム	試行場所	試行工事 工種	類型
20	清水建設、ジオサーフ、ムツミ	梁川ダム	ダム	A
21	大成建設、創和	成瀬ダム	ダム	A,B
22	三井住友建設、エリジオン、ヤマイチテクノ	国道45号 有家川橋	橋梁上部	C
23	五洋建設、インフォマティクス、大阪大学、ソーキ、パナソニック、ビーコア、日立システムズ	国道106号 与部沢トンネル	トンネル	B
24	清水建設、ジオサーフ、フリージア・マクロス、セシア、大阪砕石エンジニアリング	ハツ場ダム	ダム	A
25	東京建設コンサルタント、金杉建設、流域水管理研究所	東埼玉道路 赤岩地区	土工	B
26	大林組、地層科学研究所、伊藤忠テクノソリューションズ	冠山峠道路 第2号トンネル	トンネル	B
27	大林組、伊藤忠テクノソリューションズ、富士フィルム	天ヶ瀬ダム	ダム	A
28	浅沼組、先端建設技術センター、岐阜大学、ミオシステム	大和御所道路 曲川高架橋	橋梁下部	B
29	大成建設、成和コンサルタント、横浜国立大学、住友セメントシステム開発、ハルカプラス、パシフィックシステム、ユーエム・システム、リバティ	天ヶ瀬ダム	ダム	C
30	日本国土開発、東京大学、科学情報システムズ、児玉、アジア航測	鳥取西道路 重山トンネル	トンネル	A
31	IHIインフラ建設、IHI、オフィスケイワン、千代田測器	湖陵多岐道路 多岐インター橋	橋梁上部	B
32	鹿島建設、日本コントロールシステム、AOS	長安口ダム	ダム	A
33	愛亀、環境風土テクノ、パナソニック、立命館大学、可児建設	国道56号（伊予、松山） 国道196号（松山、今治）	土工	B



＜提案内容の類型＞ ※各社からの提案を事務局にて分類
 A)材料や施工のデータを用いて、施工管理基準に基づく試験等を代替する提案
 B)現場の映像や各種探査データ等を用いて、臨場立会・確認を代替する提案
 C)その他

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための 革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト 平成 30 年度試行結果に関する報告会

日時：令和元年 7 月 30 日（火） 14：00～17：00

会場：機械振興会館 地下 2 階 ホール（〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8）

1. 開会挨拶

(14:00) 国土交通省 国土技術政策総合研究所長
(「i-Construction の推進」プログラムディレクター)

2. 発表

<技術 I> 14:05～

発表 1：(株)堀口組 一般国道 239 号苫前町霧立峠改良外一連工事

発表 2：(株)フジタ 土岐口開発造成工事（1）

発表 3：五洋建設(株) 国道 106 号与部沢トンネル工事

発表 4：カナツ技建工業(株) 静岡仁摩道路大国高架橋外下部工事

発表 5：(株)IHI インフラ建設 湖陵多伎道路多伎 PC 上部工事

(休憩 10 分)

<技術 II> 15:35～

発表 6：鹿島建設(株) 平成 26-30 年度 長安口ダム施設改造工事

発表 7：(株)愛亀 平成 29-30 年度 松二維持工事

発表 8：清水建設(株) ハッ場ダム本体建設工事

発表 9：大成建設(株) 天ヶ瀬ダム再開発トンネル流入部本体他建設工事

3. 閉会挨拶

(16:45) 国土交通省 大臣官房 技術審議官